

【協力会社紹介】古川興業株式会社

新年度に入り早くも2ヶ月が経ちました。古川興業では、年度初めの安全会議(通称ABC会議)において昨年度の振り返りを行い、当社で起こした事故事象について反省しながら、今年度こそ「鉄道工事に関する事故、重大な労働災害、交通事故『ゼロ』」を目標に掲げ、全社員が一体となって日々の仕事に従事しています。

今回は、古川興業において2023年度の安全目標を達成するために実行する4つの項目について紹介します。

①役職者は職務を基本ルール通り実施する

ルールを省略せず確実に守り続けることが安全への近道です。



作業内容・役割の明確指示



着手時の確認(Wチェック)



立入時のケジメ



待避姿勢



作業範囲の跡確認

②『決して怒らず』コミュニケーションを取る

仕事を円滑に進めるためには良好なコミュニケーションが不可欠です。『イラッとしたら一呼吸』置いて対応します。



点呼①



点呼②

③すべてにおいて掛け声・受け声を徹底する

重量物の運搬・移動に限らず、すべての作業で「掛け声・受け声」を実施することで、お互いの意気が合い連携が図られ、重大な労災や機材の損傷防止に繋がります(誰もができる事故防止)。



まくらぎ運搬



4頭突き固め

④『ヒヤリ・ハット』は率先して提出する

全員で「ヒヤリ・ハット」したことを出し合い共有することで、危険を感じ取る感性を高めます。毎月一人1件以上の提出を目標とし、毎月の安全会議で傾向等について全社員で共有を図ります(安全意識の向上)。



安全会議風景



「ヒヤリ・ハット」メモ

これら4つの項目は特別なことではありません。しかし、やり続けることがとても重要です。人はどこかで手抜きを考える動物です。何事も一度に身に付けることはできませんが、当たり前的事として全員が実施できるように時々フォローしながら、根気よく進めていきます。

弊社社長の思いでもある「先ずは健康第一」を念頭に、仕事においてはここに掲げた4つの項目を実行しながら、安全を最優先に「無理・無駄」を省いて良質な施工を提供して参ります。



2022年度 安全大会より

〈職場のホープ紹介〉

今回は、入社2年目と新入社員の若手2名を紹介します。

入社2年目の川熊大翼君は、現在JR北海道でのメンテナンスに従事しており、新入社員の高橋美斗君は仙総所のメンテナンスを担当する班に配属となりました。

2名ともこれから様々な経験を積み重ねながらプロの線路屋として力を付け、鉄道輸送の足元を支えていける存在となるように大事に育て上げていきますので、皆様方からの厳しくも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

○川熊 大翼(かわくま だいすけ) 19歳

《鉄道経験》1年1ヶ月(2022年4月入社)

《趣味》鉄道

《特技》ボーリング

《夢》家を建てること

《抱負》軌道工事管理者の資格を取得して、どんな作業もこなせる責任者になること



○高橋 美斗(たかはし よしと) 18歳

《鉄道経験》1ヶ月(2023年4月入社)

《趣味》特になし

《特技》運動

《夢》一人暮らしをすること

《抱負》怪我をしないように仕事をすること

